

令和元年度 第2回恵庭市水と緑のまちづくり審議会（議事要旨）

日 時：令和2年2月26日（水）10:00～11:10

場 所：市民会館（2階） 中会議室

出席者： 【委員】（10名）

池永 允子・内倉 真裕美・大塚 武・岡本 浩一・斉藤 浩二・
下原 干城・豊田 栄・三浦 真吾・沼倉 健一・吉田 愛子

【市】（5名）

（市長）原田 裕・（企画振興部長）大槻 雄二・
（まちづくり拠点整備室長）岡田 貴裕・（花と緑・観光課長）小路 弘樹・
（花と緑・観光課主査）斎藤 喜代彦

【事務局】（4名）

（まちづくり拠点整備室主幹）後藤 昭悦・（まちづくり推進課主幹）廣瀬 新・
（まちづくり推進課主査）岡田 洋一・（まちづくり推進課主任技師）屋仲 めぐみ

【傍聴者】（0名）

欠席者： 【委員】（2名）

内田 信一・山口 裕美

議事1. 恵庭市公共施設花づくり基本指針について（報告）

（まちづくり拠点整備室より、恵庭市公共施設花づくり基本指針について報告。）

（A 委員）

公共施設に対しての評価は、行ったことのある方ならわかるかもしれないが、そうでない方は写真だけでの判断は難しいと思われる。

（まちづくり拠点整備室）

花壇を見られる時期でもなく、判断についてはわかる範囲で構わない。このシートだけでは判断しかねる旨を記載していただきたい。

（B 委員）

えにあすの花づくりはどこで行っていたのか。えにあすの駐車場の中央に花壇があるが、花は植えていたのか。

（まちづくり拠点整備室）

P55 に花壇を整備した際の報告及び写真を掲載している。

（B 委員）

一応植えているようだが、植えるだけで管理していない様子。

（C 委員）

そもそもここはどこが管理しているのか。

（まちづくり拠点整備室）

施設管理を行っている民間事業者が花壇も管理している。

（B 委員）

市民活動センターでも花壇について口を出せないようである。これは評価できるのか。

(まちづくり拠点整備室)

あくまで、わかる範囲で評価してほしい。

(D 委員)

基本指針について、この評価で確定というのは乱暴ではないか。新年度に指針の見直しをすることはわかるが、点数をつけるということはシビアな話である。次年度、花を見られる時期に現地を見て、意見したり評価をすることを要望したい。

(まちづくり拠点整備室)

評価していただいたところで、わからないという意見が多く、十分な集計結果が得られないことは想定できる。その集計結果を一度委員の皆様にお返しして、必要に応じて会長・副会長と相談し、現地をみるなどの手法について考えさせていただきたい。この時期に評価するのは確かに乱暴かもしれない。

(E 委員)

私は何か所か現地を見ているが、全く見ていない方が写真だけで判断するのは乱暴だと思う。また、この資料について評価したものを集計して、再度資料を作るとなると手間をかけすぎではないか。

(まちづくり拠点整備室)

この審議会場で委員の皆さんに印象を伺うという手法もあったが、時間の都合上難しく、シートをお配りし評価していただくような手法となった。全く無駄であるというご意見が多数であれば、一度考え直したいが、できれば可能な範囲で印象を回答いただきたい。

(B 委員)

単純に「ここは行っていないからわからない」という回答で良いか。

(まちづくり拠点整備室)

構わない。

(D 委員)

そうすると、評価しやすい時期、例えば7月頃に現地を見て評価をするということも検討しているのか。

(まちづくり拠点整備室)

13施設全部を見ることが相応しいかはわからないため、見る施設や見るポイントを事務局にて、検証シートの集計結果を踏まえて考えたい。

(D 委員)

今回の評価とは別に再度評価をすることになるか。

(まちづくり拠点整備室)

そのようになる。

様式4のなかで市民意見をきくこととなっており、来年度また花壇に花を植えるにあたり、机上であっても審議会の意見を少しでも反映できたらと考えている。

(B 委員)

13施設回るとしたら、時間を調整すると1日で回ることができる。そうすることで手入れの状況をきちんと見ることができるので、令和2年度においては現地を見たうえでの判断ができるのではないかと。

(A 委員)

B委員が言っていたように、植えたときに審査するというよりは、植えてから時間をおいて、管理されている状態をみられるよう開催時期を検討していただきたい。図書館や黄金ふれあいセンターではコミュニティガーデンという新たなガーデンをつくっているのだから、これから目指すものなども審査の項目となると良いかと思う。

(まちづくり拠点整備室)

しっかり評価できるような現地の回り方を事務局で検討したい。

(F 委員)

また、花壇がどこから見えるかという部分に注目して、施設を訪れてまず目にすることを重視するのか、近寄ってじっくり見てもらうことを重視するのかを考慮したうえで、毎年同じアングルから写真を撮影し蓄積していくことが良いのではないかと。

(まちづくり拠点整備室)

どのように見られたいかの主張が大切だと思う。

(C 委員)

このような事業は恵庭が「花のまち」だから実施している。他の市町村から訪れた人に“やっぱり恵庭はすごいね”と思ってもらえるような場所に花を植えていることが大事。市街地から離れたところに手間をかけて整備するよりも、ポイントを絞ったほうが良い。たとえば、市外からエアポートで恵庭駅に降りた人が恵庭駅西口で“期待して来たのに、どこに花があるんだろう？”と思われるようではまずい。

(まちづくり拠点整備室)

“どこに花があるのか”という意見は度々耳にする。“植えれば良いという問題じゃない”との意見だが、残念ながら植えれば良いところも植えられていない現状も見受けられる。

基本指針の作り方としても、細かい数字を並べる必要があるかどうかについて見直したい。また、図書館や黄金ふれあいセンターのような今後の方向性についても、資料でわかる範囲で構わないので、意見をいただきたい。このような時期となってしまったことに関しては、設置株数や費用といった実績がこの時期にならないと出ないことが要因である。次年度の良い時期には改めて現地をみてご意見を伺いたい。

議事 2. 恵庭市水と緑のまちづくり表彰者について（諮問）（非公開）

(花と緑・観光課より、恵庭市水と緑のまちづくり表彰者について説明。)

(C 委員)

意見がないということで承認とする。

(その他事務局より 第 1 回議事録について説明)

(その他事務局より 検証シートについて説明)

(その他委員より)

(G 委員)

評価項目についてはこのままとなるか。

(まちづくり拠点整備室)

項目はこのままであるが、項目として記載されていないものについては備考欄に記載いただきたい。

(G 委員)

基本指針のなかの整備方針 (P3) のなかでデザイン性の欄に丸がついていない施設があるが、この施設についてもデザイン性を評価して良いのか。

(まちづくり拠点整備室)

担当者が当初、計画を作成する際にデザインを意識していなかったと思われるが、評価の際にはそれらは踏まえずに最終的な花壇のデザイン性について評価してほしい。

(H 委員)

所管課の意見等が書かれているが、所管課が直接関わっていないところもある。実際に花を植え、維持管理をしている本来のプレーヤーが“もっと花を植えたい”や“今と違った植栽をしたい”という考えがあるとして、所管課が作成するシートのなかには書かれていないのではないかと。審議会においてそのような想いを感じ取れないとなると非常に残念に思う。“もっと予算があれば良い”や“もっと違った植え方がある”といった意見からもっと見た目が良く、効率が良く、もっと行政と市民が一緒になって活動できるといったヒントが隠れているのではないかと。

(まちづくり拠点整備室)

検証シートのなかに市民意見を記載する欄がある。実際に携わっている団体にどこまで意見を伺えるかはこれから検討であるが、実際に植えている方のご意見を反映させていきたい。

(E 委員)

恵庭の花壇は他のまちから見ても華やかで素敵。もし花壇の数が多すぎて花を植えられないのであれば、せめて草取りだけでもすれば良い。他のまちでは同じ色の花ばかり並んでいたり、近くの看板のほうが目立ってしまっていたりするが、恵庭はそんなことはない。自信をもってやっていくべき。

(まちづくり拠点整備室)

そういった“ほかのまちと比べてきれい”といった内容も評価として記載してほしい。

(A 委員)

花のまちづくり推進会議では行政ではなく市民主体の花のまちづくりプランができています。花づくり基本指針は公共施設についてまとめているが、花のまちづくりプランでは民間も行政も全てを網羅している。お互いの計画の情報共有ができれば良いかと思う。

(B 委員)

計画のなかの施設同士の繋がりが無い。横の繋がりがあればもっと良いものになるのではないかと。国道36号沿いの花壇は今年度花を植えていない。植えていないのに評価することとなっている。横の繋がりが無いからこのようなことになるのではないかと。また、検証シートのなかでデザイン性を評価することとなっているが、事業者や市民が手掛けたものであれば良いが、名のあるデザイナーがデザインしたもののデザイン性を評価しても良いものか。デザイナーがデザインしたところは“デザイン性を評価しない”と表記した方が良いのではないかと。

(D 委員)

誰がデザインしたかを考慮しながら評価するのは難しいと思われるので、見た目のみの評価をして良いのではないかと。評価が難しいと感じるのであれば、その旨を記載して評価しなければ良いかと思う。

(C 委員)

デザイン性の評価については事務局で再考することとしてほしい。

(A 委員)

今回は29年度・30年度・31年度の3年間の評価であったが、次年度は令和2年度からの3年単位の評価となるのか。3年毎に区切る場合、先ほど国道36号沿いに花がなかったというお話があったが、そのようなところを削除し対象施設を入れ替えることは可能か。

(まちづくり拠点整備室)

実質的には令和2年度の花壇を委員の方に見ていただくが、検証シート上では過去3年間花を植えた実績として評価してほしい。

(D 委員)

3年間で終了するものとして取り組んできた事業であり、一旦終了した。今後の活動については定まっていないため、審議会での意見がほしい。事務局としては、今後も同様の施設に対して検証していくのか、ポイントを絞って指針を修正していくこととしたい。

(A 委員)

市長からも発言があったが、緑化フェアを見据えて考えていけたら良い。

(B 委員)

国道36号沿いの花壇は水栓がないため、花が枯れてしまう。恵庭の玄関口ではあるが、いっそ削除するべきではないかと。

(A 委員)

緑化フェアを見据えたときに会場だけに花があれば良いというものではないと思う。水がなくてもできる宿根草にするなど、形を変えていくことで対応できるのではないかと。

(B 委員)

水がないことやアスファルトの照り返しなど、厳しい条件が揃っている。方法を考えていかなければならない。よい方向に向かっていけばと思う。

(会議終了)